

## 学校教育目標の立案のためのワークシート

職員会議でご案内したとおり、9月18日（水）発表に向けて、9月9日（月）までに各分掌・学年で審議・提案をお願いします。

つきましては、昨年度のアンケート結果（ホームページ掲載済み）や生徒の実績、地域・社会の実態を踏まえた上で、各自で以下の4つの要件を考慮して、ワークシートを使って2030年まで使える教育目標の立案をしてみてください。

【教育目標設定の観点】 例)「探究」、「協働」、「貢献」

- ①具体性：下位目標等で具体化できる目標である。
- ②現実性：生徒・地域・社会等の実態分析に基づいている。
- ③定着度：短く覚えやすいフレーズである。
- ④汎用性：生徒の多様な現状や可能性に対応できる。

### 1 こんな学校教育目標が良い

--

### 2 立案の観点・理由を列挙しましょう。

--

### 3 教育目標を「資質・能力」に当て嵌めて「育成を目指す子どもの姿」を明確にしましょう。

教育目標			
知識及び技能			
思考力、判断力、表現力			
学びに向かう力、人間性			

## 学校教育目標の立案のためのワークシート（教務部）

### 1 こんな学校教育目標が良い

- ①仁                      ②豊かな人間性と創造性を育む。                      ③自主性、思いやり、継承  
 ④教養・寛容・公正                      ⑤柔軟かつ屈強な精神で、未来を切りひらいていける人事の育成  
 ⑥自ら考え学ぶ生徒—自主・自立

### 2 立案の観点・理由を列挙しましょう。

- ①他者を思いやるためには、自らを高めることが不可欠である。自らを向上させるのは、自分だけのためだけでなく、地域、社会のためであるということを意識して、指導にあたっていく。  
 ②これまでの教育目標の中の「心豊かな青年を育成」校訓の中の「創造」をふまえ、地域・社会が本校へ期待する生徒像に照らし合わせた。  
 ③・ 勉学、部活等どんどん社会に出て活躍して欲しい。・ 甲子園出場の際、地域やさまざまな人たちからあれだけの応援をくださったそういった気持ちも大切にして欲しい。・ 学校行事の盛り上がりなどいい面を継承し、成長して欲しい。  
 ④・ 何のために学ぶか？→自分のためだけでなく、より良い社会を作るため→そのための教養・良い社会の条件とは？→さまざまな違いに寛容でかつ、誰に対しても公正な社会→そうした姿勢を学ぶための教養。  
 ⑤「屈強」というのは、生きていく上で大切なこと。うちの学校の生徒に一番身につけてほしいこと。その中で時にはまわりに合わせて「柔軟」に対応していくことが社会で求められること。「しなやかでたくましい」感じが気に入った。  
 ⑥・ 真面目だが受身がちな生徒が多いので、積極性を養いたい。・ これからは自ら考えてアピールしていく力が求められるため。

### 3 教育目標を「資質・能力」に当て嵌めて「育成を目指す子どもの姿」を明確にしましょう。

教育目標	①	②	③自主性	③思いやり	③継承
知識及び技能	身につけた知識・技能を適切に社会の中で活かせる。	豊かな発想力			偉人たちが作り上げてきた知識、技能を確実に、大切に。
思考力、判断力、表現力	現状をよく観察し、行うべきことを見つけ出し、実践する。	主体的に判断し、行動できる。	ALでやってきたこれまでの取り組みを延長して。		
学びに向かう力、人間性	他者の中の自己を意識し、自らのなすべきこと、取るべき行動を考えることができる。	生命を尊重し、思いやりの心を持つ。	発展（extention）レベルの段階においても積極的に立ち向かう。	仲間の意見を尊重すること。	

# 学校教育目標の立案

## [進路指導部]

コンセプト 2030年まで使える教育目標の立案。

【教育目標設定の観点】 例)「探究」、「協働」、「貢献」

- ①具体性：下位目標等で具体化できる目標である。
- ②現実性：生徒・地域・社会等の実態分析に基づいている。
- ③定着度：短く覚えやすいフレーズである。
- ④汎用性：生徒の多様な現状や可能性に対応できる。

### 1 こんな学校教育目標が良い

平和で持続可能な社会を創るために貢献できる人間  
問題を捉え、その解決のために主体的に学び、考え、行動できる人間  
そのために、仲間と協働して活動できる人間

克己、調和、創造

多面、多識、多彩

粘り

向学、探究、自主、協働、貢献

### 2 立案の観点・理由を列挙しましょう。

明るく人と接する。  
問題を発見し、解決する。  
主体的な学び、活動する。  
国際社会や地域の問題を発見し、解決できる知性。  
主体的、探究的に学び、実践的に行動する。  
社会貢献できる人間性。

自分に打ち勝ち、一人一人成長できる学校。  
他者を認め、尊重し合う生徒の居る学校。  
新たな知見を創造し、未来へ進む学校。

「多」治見高校ということで、その文字を入れることで印象に残りやすい。  
A.Lなどの活動を、より効果的にできるためには多面的に考える力が必要。  
考えるためには、多くのことを知っていることが必要。さらに学んだこと、経験したことから地職を得ていくことが必要。  
これらが組み合わさることで、様々な形で進路実現や社会での多彩な活躍ができる。

学業、部活動等で最後まで努力し続ける。また毎回の授業や学習、練習でしつこく取り組む生徒が減っている印象を受けた。

向上心をもち学問に望み、幅広い知識をもった生徒、探究する気持ちをもち続けられる生徒の育成。

自主的、自律的な活動とともに、仲間と協働して取り組むことができる生徒の育成。

その上で、地域や日本、国際社会に貢献できる生徒の育成。

## 学校教育目標の立案のためのワークシート（生徒指導部）

### 1 こんな学校教育目標が良い

①「自己有用」 ②「自己実現」 ③「自他協働」

### 2 立案の観点・理由を列挙しましょう。

①「自己有用」 成功体験を積み重ねる中で感謝の気持ちと思いやりの気持ちを育てる。  
 ②「自己実現」 自ら目標を立て目標達成のため主体的に行動していける態度を育てる。  
 ③「自他協働」 人と地域とのつながりを大切にし、社会の形成者としての姿勢を育てる。

### 3 教育目標を「資質・能力」に当て嵌めて「育成を目指す子どもの姿」を明確にしましょう。

教育目標	①「自己有用」	②「自己実現」	③「自他協働」
知識及び技能	自身の知識や能力を客観的に理解し、受け止められる。	一人一人の文武両立の意味を理解し、実践しようとする事ができる。	地域の伝統や文化をもとに、社会で求められる人間像を知る。
思考力、判断力、表現力	様々な活動を通して自分自身を認め、自尊感情（肯定感）を高める。	現状をもとに自らの目標を立て、どう行動すべきか判断し行動する。	他者とのつながり、適切なコミュニケーション能力を発揮する。
学びに向かう力、人間性	他者から承認や信頼される喜びを感じ、大きな自信につなげる。	学習意欲と自己教育力（自律）を高め、自己実現を目指そうとする。	豊かな情操（情感）と道徳心、協調性のある人間性を育む。

## 学校教育目標の立案のためのワークシート（特別活動部）

### 1 こんな学校教育目標が良い

「誠実」「礼節」「奉仕」

### 2 立案の観点・理由を列挙しましょう。

- ・何事もごまかさず「誠実」に取り組む姿勢を養う
- ・挨拶ができ、マナーを守る「礼節」ある態度を養う
- ・掃除やボランティアに自発的に取り組む「奉仕」の精神を養う

### 3 教育目標を「資質・能力」に当て嵌めて「育成を目指す子どもの姿」を明確にしましょう。

教育目標	誠実	礼節	奉仕
知識及び技能	事実や現実を理解し、受け止める	TPOに応じて、どのような言動や行動をすべきか理解する	自分の行動が社会の中でどのような影響を与えているかを知る
思考力、判断力、表現力	事実や現実をもとに、どう行動すべきか考え、判断し、実行する	TPOに応じた言動や行動ができる	他人の立場に立って考え、行動する
学びに向かう力、人間性	信頼される喜びを感じ、自信を持つ	相手の立場を尊重できる	社会に役立っているという喜びや達成感を感じるとともに、感謝の気持ちを持つ

## 学校教育目標の立案のためのワークシート（保健厚生部）

### 1 こんな学校教育目標が良い

- ①一人一人の文武両立
- ②挑戦・継続・飛躍

### 2 立案の観点・理由を列挙しましょう。

- ①校訓・スローガン・教育目標と多すぎる  
広く認知・期待されているスローガンを目標とする
- ②どんなことにも挑戦し継続していくことで大きな力をつけ、大きく飛躍できるように。  
1年生で挑戦、2年生で継続、3年生で飛躍

### 3 教育目標を「資質・能力」に当て嵌めて「育成を目指す子どもの姿」を明確にしましょう。

教育目標	誠実	礼節	奉仕
知識及び技能			
思考力、判断力、表現力			
学びに向かう力、人間性			

## 学校教育目標の立案のためのワークシート（渉外部）

### 1 こんな学校教育目標が良い

①前提として、「校訓」は残す 「現状変革の意志、弛まぬ探究心、みずみずしい行動力で社会を支える青年の育成」 ②「25歳の君は何してる」 ③「誠実」
--

### 2 立案の観点・理由を列挙しましょう。

①校訓である「進取・努力・創造」に基づいた教育目標がよいと考え上記とした ②「25歳のなりたい自分」を実現させるために、高校の3年間と大学・大学院・専門学校の2～6年間とどのように向き合い、過ごすのか ③すべてに通じる資質と考える
---

- ①「変革」：自己の成長、他者を尊重しての成長  
 「探究」：継続して深める  
 「実践」：行動に現す

### 3 教育目標を「資質・能力」に当て嵌めて「育成を目指す子どもの姿」を明確にしましょう。

教育目標			
知識及び技能			
思考力、判断力、表現力			
学びに向かう力、人間性			